

ダンボールばんじゅう M深

組立説明書



注意

組み立てをする際は、手を切らないよう手袋や軍手の着用をお勧めしております。

✓全ての折り目を先に折っておくと組み立てやすくなります。

✓パーツを折るときは、野線がはっきりしている面が内側になるようにしてください。



紙 包装袋

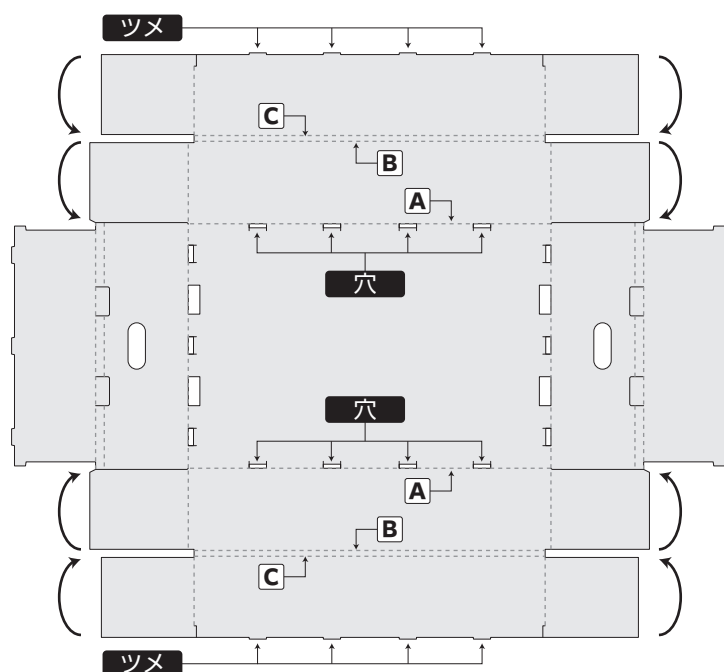


包装袋 緩衝材



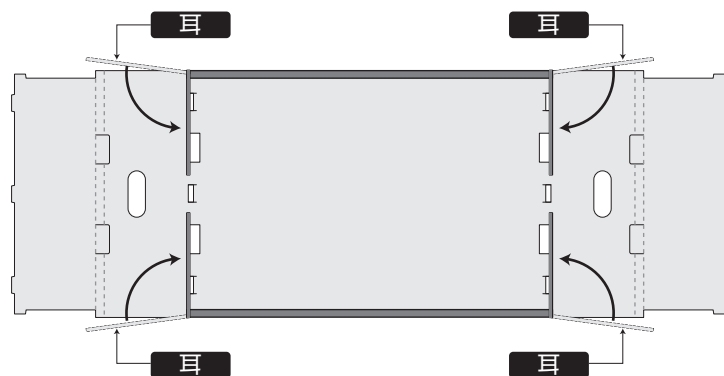
ダンボール

●製品情報 W403×D603×H140mm(内寸) 材質:ダンボール 耐荷重(均等荷重):《底面》約25kgf《枠部分》約600kgf●耐水性ではございません。水に濡れないようご注意ください。●火気を使用する場所では使用しないでください。火災の原因となり大変危険です。●ダンボールの材質上、薄い筋状に線が見えることがございますが品質上問題はございません。●高温多湿・直射日光に当たると製品の劣化・色褪せの原因となりますのでご注意ください。●お届けする製品は製造ロットによって若干色合いが異なる場合がございます。●生産過程上、サイズに1~2mmほどの誤差が生じる場合がございます。●製品に過度な衝撃を与えないでください。●耐荷重は底面全体に均一に荷重をかけた場合の合計量です。あくまで目安であり、ご利用状況や環境により異なります。●廃棄される際は自治体のルールに従い、分別・リサイクルにご協力をお願いいたします。



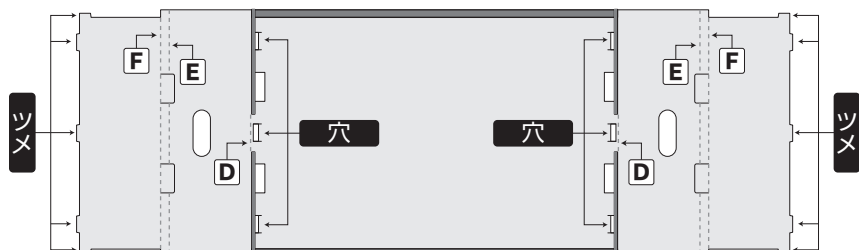
①

長辺を先に折ります。
折り線 A・B・Cを内側に折り込んで、
穴にツメをはめ込みます。(特にB・Cは
しっかりと折りぐせをつけてください。)



②

左右の耳を内側へ折ります。



③

DからFまでの折り線を、耳を挟み込むように
内側に折り込みます。中央3つのツメを穴に、
左右両端のツメを隅にはめ込んで完成です。

ご使用方法

本体をスタッキングしてご使用いただけます。

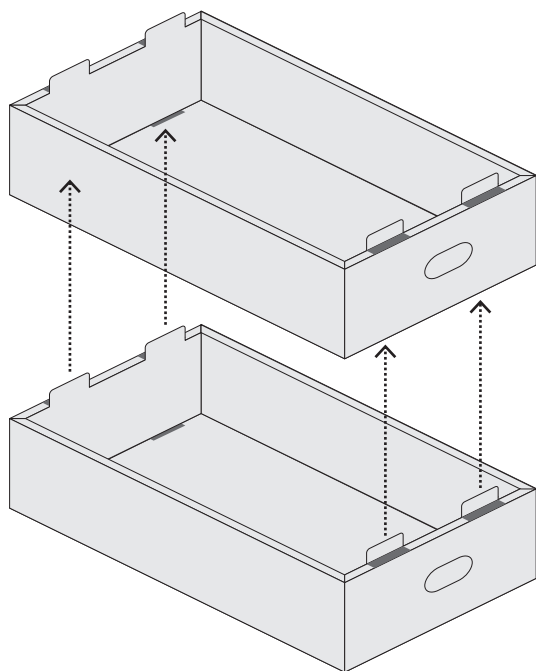


注意

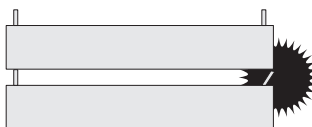
均等耐荷重(1段あたり):《底面》約25kgf 《枠部分》約600kgf

- 1段あたりの耐荷重の範囲内であっても、全体の耐荷重を超えないようにしてください。
変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。
- 耐荷重は底面全体に均一に荷重をかけた場合の合計量です。あくまで目安であり、ご利用状況や環境により異なります。

●ツメを穴にはめ込んでください。



注意



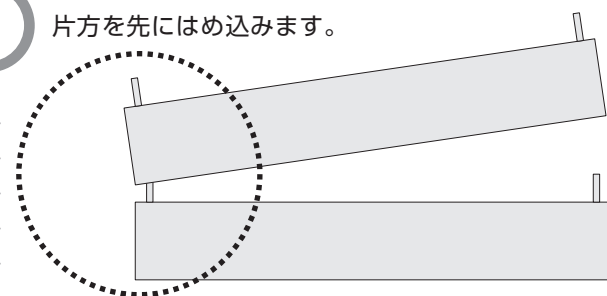
両方を一度にはめ込もうとすると、ツメが折れることがありますのでご注意ください。

スタッキングの
コツ

上に置くばんじゅうを少し傾けて、
先に左右どちらか片方をはめ込んでから
もう片方にうつるとスムーズです。

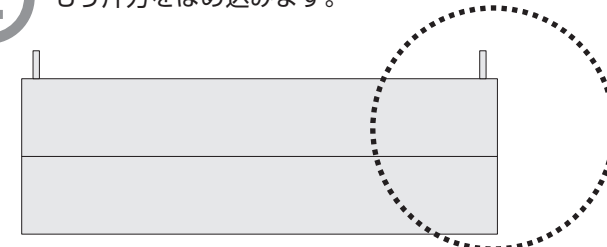
1

片方を先にはめ込みます。



2

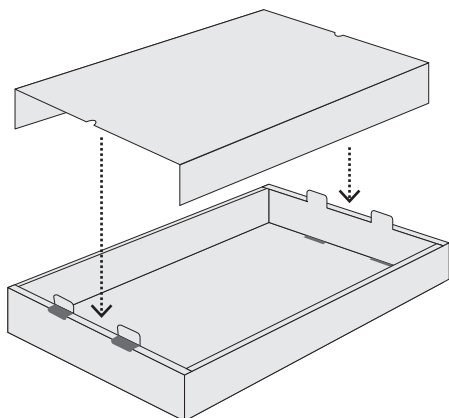
もう片方をはめ込みます。



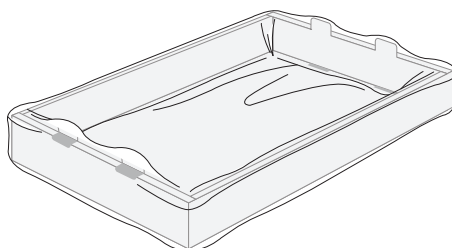
専用内袋(別売り)・専用フタ(別売り)を使用する場合

本体に専用内袋(別売り)をセットした後、専用フタ(別売り)を取り付けたり、積み重ねたりすることが可能です。

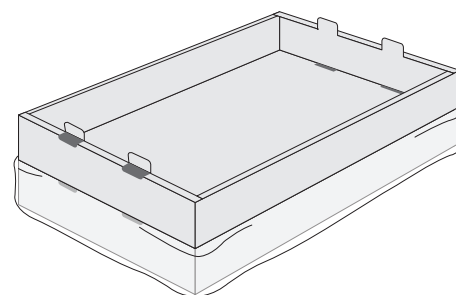
※イラストにはばんじゅう[Mサイズ]を使用しています。



専用フタの両端を折り、
本体内側にはめ込みます。



専用内袋をかぶせた状態。



専用内袋・専用フタをセットした
まま積み重ねることができます。

 yamapac [ヤマバック] 山内紙器株式会社

<https://yamapac.co.jp> E-mail info@yamapac.co.jp

京都本社/工場 〒615-0852 京都市右京区西京極西川町15番地 TEL(075)312-3557(代) FAX(075)314-3701 (受付時間:平日9:00-16:00)